

6月号（平成28年）

### 仲間と協力する

梅雨の時期になりましたが、今年は特に雨の日が多く感じます。6月24日に予定をしていました体育祭も雨天により一週間の順延となりました。そこで金曜日は通常授業をしたのですが、生徒たちは気持ちを切り替えて授業を受けていたのですが残念そうにもしていました。

今年も多くの授業を見学しています。とくに体育の授業を見ていて感じるがあります。それは本校の生徒の多くは、体を動かすことや仲間と運動を楽しむことがとても好きなようで、すごく体育の授業が盛り上がっているということです。私も時々、バドミントンやバードゴルフなどの体育の授業に参加しており、一緒にスポーツに親しんでいます。21世紀はグローバル社会で知識基盤社会と言われていています。これから生きていくための基本的な知識、確かな学力はもちろん必要ですが、豊かな心と健やかな体の育成も重要であり、学校教育での重要な目標となっています。ルールを守り仲間と協力し活動する体育には、こうした豊かな心と体の成長を促すことも目的にあります。本校では、体育の授業は複数の教員で実施しているだけでなく、他の教科の若い教員も一緒に参加して指導しています。そうしたことから見学している生徒は一人もいません。6月27日に初任者の公開研究授業を実施したのですが、指導助言のために来校いただいた天理大学白石教授や他校の管理職や教員から、「とても良い雰囲気、生徒たちが協力しながら運動をしている」と評価をいただきました。本校の生徒たちは、素晴らしい可能性を持っていると改めて確信した次第です。このような体育の授業だけでなく、様々な学校教育の場面で、引き続き一人ひとりの生徒を大切にする教育に取り組んでまいります。

さて、先月は成城高校にある樹木の話をしていただきました。そのなかで中庭の駐輪場の横にある榎は本校で一番大きな木であり15m位はあると思います。榎には小さな果実がなるのですが、実を食べた小鳥があちこちに糞をして木が生える場合もあるので、この木もそうして成長したのかと思っていました。私はここに榎があるという理由をこのように思い込んでいたのですが、ふとある時、花言葉を調べてみました。「榎の花言葉 協力、力を合わせる、共存共栄」とあります。学校の校訓のひとつに「和親協力」という言葉があります。今年の入学式においても、私が新入生たちに伝えた言葉でした。毎日、登校してきた生徒を見守る木も、こうして「仲間と協力しよう」というメッセージを送るために、校舎が出来たときに植えられたのだと知りました。正門の横にも校訓の書かれた石碑があり、「和親協力」とあります。いろいろなところに学校教育の精神を伝えるメッセージがあり、我々の日頃の教育のベースになっていたことを知った次第でした。

今月も最後までお読みいただきましてありがとうございました。

成城高校定時制校長 富田公一（とだこういち）